



岩江中だより

第 14 号

発行日：平成28年 8 月12日
発行：三春町立岩江中学校
電話：0247-62-8290
FAX：0247-62-8380
E-mail:iwae-j@fcs.ed.jp

学校経営基本方針『こころ豊かに、たくましく』～「共に」語り合い、分かち合い、成長する学校～

【暑さに負けず！ ～夏休みも、全力で取り組んでいます。～】

7月21日（木）から始まった夏休みも、すでに、あと3分の1を残すばかりとなりました。その暑さに負けず、子どもたちは、顧問の先生方とともに、新人戦やコンクールにむけた活動に、全力で取り組んでいます。先日は、激励の気持ちを込めて、各部活動を訪問して歩きました。1年生だけで部活動に取り組むバレーボール部、総合大会地区優勝という輝かしい歴史を引き継いで練習に熱が入る卓球部、炎天下、ぎらぎらした太陽の陽ざしと熱気を全身で受け止めて取り組んでいる野球部、ソフトテニス部、岩江小学校の体育館をお借りして、広いコート感覚を味わいながら練習するバスケットボール部、コンクール出品をめざしてコツコツ賑やかに取り組む文化部、早朝からの特設駅伝部、午後の音楽室で取り組まれている特設合唱部など、さまざまな目標や思いを胸に、夏休みの部活動は進んでいます。

練習計画を立て、給水・休憩計画どおりに体調管理やチーム力向上には取り組んでいます。そこは、厳しい暑さの夏。辛抱しながらの苦しい活動もあります。一つ一つの活動を応援するにつけ、何とかこの「辛抱」が、やがてやってくる新人戦やコンクールに結果となって現れてくれるよう心から願います。



【先生方も教員としての力をさらに身につけようとがんばっています！】

7月29日（金）は、田村地区中学校教育研究会第一次研究協議会が、船引中学校を会場に開催されました。次ページの写真は、田村地区の全中学校の国語科の先生方が、それぞれの学年にわかれ、各校で国語科の取り組みの様子について情報交換をしている様子です。

国語科だけではなく、田村地区内の中教研に所属している先生方が、各教科等ごとに集合し、これまでの各校での実践や研究を持ち寄り、話し合いをとおして情報交換を図り、それを自校に持ち帰って、夏休み以降の授業や指導に役立てようとする機会となりました。

福島県の中教研という組織は、昭和39年4月にその結成がさかのぼります。その結成趣意書の一節がとても素敵で、機会あるごとに、国語科の先生方にはお伝えし、われわれ教員が教員としてどうあるべきかについて自らを振り返る機会となります。その素敵な一節をご紹介します。

福島県中学校教育研究会結成趣意書

… 県中教研は、研究を愛する者よりは教育を愛する者の集まりにすべきではなかろうか。中学校の教育を愛する者が、愛する生徒たちのために、自分に鞭うつ、その鞭を求めて集い合

う研究団体であり、研究に名声を求めることの空虚さを自覚して、ひたすらに自分の学校における教育実践力を鍛えあげていこうとするものである。したがって、研究の場は輝かしい大会場そのものにあるのではなくて、都塵によごれている校舎でも僻地に傾く校舎であったとしても、そこに中学校がある限り教育研究の出発点があり、終着点がある。県内の中学校ひとつひとつが県中教研活動のターミナルである。…

昭和39年4月

いかがでしたか。本当に素敵な文章でしたでしょう。岩江中学校の先生方には、この趣意書の内容、『子どもたちのために、自分にできることはすべてやる、人の一生の中で最も揺れ動く中学生という時期の子どもたちと一緒に過ごせることに、教員としての喜びと誇りを感じて』という校長としての思いを今後も伝えていかなければならないと強く思います。



【夏の岩江もさまざまな表情を見せてくれます。】

岩江中学校の夏。山法師の実は赤く色づき、赤とんぼは竹の先で羽を休め、地面ではカナチヨロがちょろちょろ、夕方には怒濤となって屋根を流れ下る雨、雨後には青空に希望の虹が架かります。それぞれに美しさ、すばらしさを表現する岩江の夏は、今、真っ盛りです。

時には、空をゆっくり眺める余裕も人生には必要なのかも？



【最後の練習！ ～石井宗祐先生、ありがとうございました。～】

7月22日（金）、体育館をのぞくと、4月からのバレー部顧問、石井宗祐先生のサーブをバレー部員がレシーブして返すという練習をしていました。4月1日から勤務いただいた石井宗祐先生の、岩江中学校最後の部活動でした。

お休みをいただいていた先生の補充として、須賀川の稲田中学校から本校においでいただき、保健体育の授業、バレーボール部の部活動、早朝からの特設陸上や駅伝部の練習、中体連総合大会や各種大会の引率と、岩江中学校の運動面での、常に先頭に立って活躍してくださいました。先生からお教えいただいたことは、子どもたち一人ひとりの心にしっかりと息づいていることと思います。4ヶ月間、本当にありがとうございました。

